

# そよかぜ

第75号

地方独立行政法人 神戸市民病院機構

神戸市立 西神戸医療センターの基本理念

神戸西地域に根づいた  
安心・安全な医療をめざします

発行日／令和 7 年 10 月

編集人／鴨川課長

<https://nmc.kcho.jp/>



このたび、4月1日付で患者支援センター長に就任いたしました孫 徹です。

私は糖尿病や内分泌の病気を専門として診療してまいりました。特に糖尿病はとても身近な病気で、予備軍を含めると、日本でおおよそ2,000万人もの方が抱えているといわれています。

糖尿病の治療は、単に血糖値を下げるだけではなく、食事や運動などの生活習慣の工夫、心臓や脳の病気といった合併症の予防、さらに最近注目されている「病気を抱えることで生じる社会的な不利益(スティグマ)」への配慮など、幅広い支援が必要になります。

そのため、西神戸医療センターだけで治療が完結するものではなく、地域の先生方や医療機関と協力しながら、患者さんを支えていくことが大切だと感じております。

これからは患者支援センター長として、糖尿病に限らずさまざまな病気についても、患者さん一人ひとりに合わせた支援が行えるよう、地域の先生方とさらに連携を深めながら力を尽くしてまいります。

まだまだ至らぬ点も多いかと存じますが、皆さまのお役に立てるよう全力で努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



患者支援センター長  
孫 徹

神戸市立西神戸医療センター

〒651-2273 神戸市西区糺台5丁目7番地1 TEL : 078-997-2200(代表)



# 集中治療室早期離床推進チーム

集中治療室では、重症の患者さんに対して人工呼吸器や人工心肺などの集学的な治療を行ったり、手術後の体調管理や回復支援を行っております。当院集中治療室においては、内科・外科を問わず様々な疾患を抱えた患者さんが入室され、治療を受けております。ことに重症患者さんにおいては、麻酔科医師をはじめとして様々な診療科が連携して治療に当たっておりますが、その治療を効果的に行うためにも多職種チームの連携は欠かすことができません。

肺炎が悪化し人工呼吸器を使用することになった患者さんを例に挙げると、まず人工呼吸器を安全に導入するために臨床工学技士の力が必要となります。人工呼吸器はあくまでも機械ですので、それそのものが治療の経過を判断することはありません。臨床工学技士は機械に異常がないことを常に確認しながら、患者さんの状態と照らし合わせて設定変更の提案などを医師に行い、治療をサポートしています。

人工呼吸器を装着している患者さんは安静を余儀なくされ、なにもしなければ筋力は低下していく一方です。

機能回復を図り、社会復帰するためには筋力などの身体機能や精神機能の維持や改善のための介入を早期から取り組んでいかなければなりません。理学療法士、作業療法士は患者さんの体調に応じて床上での関節運動や、呼吸器合併症予防、動作練習を日々実施しています。

昨今ではリハビリテーションと栄養補給の関係性にも注目されています。ご自分で栄養摂取をすることができない患者さんは、病態や体重に沿った適切なカロリー摂取ができるように緻密なプランニングが必要です。また、絶食が続くと腸管の機能は衰え、さらに免疫力の低下を招くことがあります。専任の管理栄養士は、適切で患者さんに害のない栄養投与ができるように、計画立案と見直しを毎日行っています。お口から食事ができるようになれば、言語聴覚療法士が飲み込みのテストを行い、安全に食事摂取ができるか判断します。セラピストと管理栄養士の両輪がなければ、回復を見据えた集中治療は成り立ちません。

看護師は、患者さんのそばで異変がないかをいつも確認し、その人にとってよい治療を行うためにはどうすればよいか毎日話し合いを重ねています。ときには医師や多職種にも情報を伝えたり、提案したりすることもあります。治療の橋渡しを行う役割として、看護師は必要不可欠です。また、当院では 3 年前より入院時重症患者対応メディエーターを導入しております。高度かつ複雑になる医療現場の中で、患者さんとその家族に寄り添いながら、よりよい治療選択を行い、支援するための制度です。また、現実的なお話をすれば、集中治療室入室は経済面での負担や、退院後の転帰も憂慮される方が多いかと思います。各種医療制度や退院支援に関しては、こちらも入院後 7 日以内にメディカルソーシャルワーカーと連絡を取り合い、入院～退院後までの具体的な社会的支援を展開しています。

このように、一人の患者さんに対し、必要に応じ多くの職種が関わり、治療や入院生活を支援しています。それぞれが自身の専門分野で最大限の力を発揮できるように、カンファレンス等を通して常日頃から「チーム医療」を意識しています。当集中治療室に入室される患者さんとその家族が、安心して治療に専念ができるような体制を整えております。少しでも辛い、不安だ、心配だと感じることがありましたら、遠慮なくその場にいるスタッフにお伝えください。



第30回

# がん市民フォーラム in KOBE

テーマ:

## 卵巣がん

日時

2025年 **11** 月 **22** 日(土)  
10:00~12:00 [開場9:30]

参加費  
無料

会場 &  
オンライン

ハイブリッド  
開催

申込  
不要

### プログラム

10:00-10:05 開会挨拶

10:05-10:45 講演①

「沈黙の臓器・卵巣がん向き合う  
～卵管卵巣癌の最近の診断と治療について～」

講師：神戸市立西神戸医療センター

産婦人科 医長 小菊 愛

10:45-10:55 休憩

10:55-11:25 講演②

「気になる遺伝  
～卵巣がん焦点を当てて～」

講師：神戸市立医療センター中央市民病院

認定遺伝カウンセラー 吉田 晶子

11:25-11:35 休憩

11:35-11:55 講演③

「医療費が心配！  
～知っておきたい高額療養費制度～」

講師：神戸市立西神戸医療センター

がん相談支援センター相談員

社会福祉士 友次 佳代

11:55-12:00 閉会挨拶

会場

定員:100名

神戸市立西神戸医療センター  
東隣 地域医療ホール  
(神戸市西区糺台5-7-1)

新型コロナウイルス感染拡大防止について(お願い)

- ・病院建物内では、マスクを必ずご着用ください。
- ・発熱・倦怠感などの体調不良が感じられる場合、会場へのご参加をお控えください。

### オンライン参加方法

- ・事前の参加申込は不要です。  
開催当日、右側の二次元コードからご参加ください。
- ・パソコンでご参加の方は、  
下記のZoomウェビナー情報からご参加ください。



ウェビナーID:852 3217 7372  
パスワード:ganforum



お問い合わせ

神戸市立西神戸医療センター 患者支援センター がん市民フォーラム担当  
TEL:078-997-2200 (9:00~17:00 土・日・祝日を除く)

主催:神戸市立西神戸医療センター

協賛:神戸市立医療センター中央市民病院 神戸市立医療センター西市民病院 神戸低侵襲がん医療センター

後援:神戸市医師会 神戸市歯科医師会 神戸市

# がん患者・家族サロン あじさい祭 2025 のご報告

がん総合診療部／患者会チーム

2025 年 6 月 12 日に地域医療ホールであじさい祭を開催いたしました。梅雨の中休みで雨も降らず、62 名の方が参加して下さいました。

今年は、患者さんの趣味や好きなことなど《とっておき》をかたちにされた作品の展示や、木工ワークショップ、ウィッグや補整下着の展示、栄養補助飲料の試飲、パーソナルカラー診断や紫外線セミナー、ブレスレット作り、七夕に向けた願いごと記載コーナー、管理栄養士や理学療法士による体力維持に向けた相談会などを行いました。

## 私のとっておき作品展示





患者さんの作品をじっくりと見たり、木工ワークショップではそれぞれ好きな色やかたちの木材で作品を作り、真剣な表情の後にたくさんの笑顔がありました。

参加して下さった方からは、「すてきな作品に元気を頂きました」「同じ病気をもっておられる皆様とお会いできて、明るく元気で励まされ、勇気づけられました」「またこのような機会を作して下さい」「皆さんががんばっている様子が身近に感じられて勇気を頂きました」「頑張らずに自分なりの持ち味で治療にあたろうと思った」などのご意見を頂きました。

行き届かない点も多数あったかと思いますが、患者さんやご家族にとって心が安らぎ、励みになるような機会となっていることを実感しました。今後も患者さんやご家族に癒やしや安らぎを感じて頂けるよう、患者サロンを続けていきたいと思っています。今後は、**12月18日(木) 14～15時 地域医療ホールでクリスマスコンサート**を予定しております。興味のある方は、ぜひいらして下さい。

# がん総合診療部主催 がん患者・家族サロン ♪ クリスマスコンサート 2025 ♪



がん総合診療部では、**患者さんやご家族に楽しいひと時を過ごして頂ける癒しの場を目指して毎年クリスマスコンサートを開催しております。**

今年も職員有志による楽器の演奏や合唱を予定しております。これまでのコンサートでは、患者さん・ご家族から「毎年楽しみにしている」「楽しい時間が過ごせた」「感動した」などのご意見を多数頂いております。みなさまのご来場を心からお待ちしております。

**日 時** 2025 年 12 月 18 日 (木) 14 時～15 時

**場 所** 地域医療ホール (病院東隣)

**参加費** 無料



# 放射線技術部のご紹介

放射線技術部には 27 名の診療放射線技師が在籍しています。担当業務は、一般撮影（レントゲン）、マンモグラフィ（乳房撮影）、TV 透視、骨塩定量、ESWL（結石破碎）、救急撮影、血管造影、CT、MRI、核医学、PET-CT、放射線治療など多岐にわたります。また、学生実習も積極的に受入れており、診療放射線技師養成校の学生に対して指導・教育を実践しています。当院における特徴としては、各分野に専門技師・認定技師・医学物理士が在籍しており、専門的で高品質な放射線画像・治療を提供することが可能な体制となっています。



## マンモグラフィ認定技師

マンモグラフィ認定技師は、撮影技術に留まらずマンモグラフィに対する高度な知識を有しており、撮影装置を適切に精度管理することにより、安全に撮影することができ、診断精度の高いマンモグラフィを提供しています。

## MRI 認定技師 （磁気共鳴専門技術者）

MRI の原理・安全管理・撮影技術において専門的な知識と技術を備えた MRI 認定技師を中心に、適切な撮影プロトコルにより高品質な MRI 画像を提供しており、2 台の MRI 装置を駆使して神戸市内でも有数の検査件数を誇っています。

## チーム医療の実践

日々の検査・治療を、放射線診断医／治療医・放射線看護師・他のメディカルスタッフ・事務スタッフなどと協力しチーム医療を実践しています。各分野で専門技師・認定技師を中心に質の高い医療を提供している放射線技術部をよろしくお願いします。

## CT 認定技師

高度な撮影技術・画像処理技術をもった CT 認定技師により、高品質で精度の高い画像を提供することが可能となり、診断や治療において大いに役立てられています。また救急撮影においても迅速に対応し当院の救急業務を支えています。

## 放射線治療専門技師 医学物理士

専門的な知識・技術を備えた放射線治療専門技師と品質管理を担う医学物理士が連携して、高精度放射線治療とよばれる IMRT/VMAT（強度変調放射線治療）、SBRT（体幹部定位放射線治療）など、放射線治療を安心して受けていただける環境を整えています。